

全日本ロードレース第2戦 鈴鹿2&4

Result

| | | | | | | |
|----------|------|----|-------------|----------|----------|-----|
| 予選タイム | グリッド | 周回 | 所用時間 | トップ差 | ベストタイム | 順位 |
| 2'09.659 | 13 | 29 | 1:04'16.851 | 1'13.157 | 2'09.856 | 10位 |

Setting Data

| | | | | | | |
|-----------|---------------|----------------------|-----------------|-----------|--------------------------------------|------|
| 日付 | 2016年4月24日(日) | 時間 | 12.45 ~ | イベント | 2016MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 | |
| 天気 | 晴れ時々曇り | マシン | GSX-R1000 L6 | ライダー | 今野由寛 Yoshihiro Konno / Joshua Waters | |
| コース | 名称 | 鈴鹿サーキット | | 気温 | 21 | °C |
| | コンディション | DRY | | 気圧 | 1017 | hpa |
| | 路面温度 | 42 | °C (計測時間 13:00) | 湿度 | 32 | % |
| エンジン | スパークプラグ | NGK R0373A-10 | | エンジンOIL | SUNOCO REDFOX 10W-40 | |
| | ファイナルレシオ | 16 x 44 (2.725) | | チェーン・リンク数 | RK GP520UWR 118 | リンク |
| トランスミッション | 1st | B (35/16) | 2.18 | 4th | B (31/21) | 1.48 |
| | 2nd | B (34/18) | 1.89 | 5th | B (21/28) | 1.33 |
| | 3rd | B (36/22) | 1.64 | 6th | B (26/21) | 1.24 |
| フロント | パーツ名 | OHLINS FGR200(750mm) | | TEN | -18 | 段 |
| | スプリング | 9.50 N/m | | OIL | — | |
| | トップアウトスプリング | 1 | N/mm 135 mm | 油面 | 265 | mm |
| | イニシャル | 11 mm | | 残ストローク | — mm | |
| | COMP | -18 段 | | 突き出し | — mm | |
| リア | パーツ名 | OHLINS TTX(370mm) | | リンク | SPL | |
| | スプリング | 91.6 N/m | | リンクロッド | — mm | |
| | トップアウトスプリング | 50 | N/mm 12 mm | 車高 | STD+ 22 | mm |
| | イニシャル | 10 mm | | ピボット位置 | -2 mm | |
| | COMP | -13 段 | | スイング長 | 607 mm | |
| | TEN | -10 段 | | 残ストローク | — mm | |
| タイヤ | フロント | | | リア | | |
| | 銘柄 | ブリヂストン | | 銘柄 | ブリヂストン | |
| | サイズ | 120/60R17 | | サイズ | 190/65/17 | |
| | エア圧 | 1.8 | | エア圧 | 1.4 | |
| チェック | 順位 | 10 | 位 | ベストラップ | 2'09.695(今野予選中)2'09.856(Joshua決勝中) | |
| | 水温 | °C | | 油温 | °C | |
| | ガソリン | IN | - | ℓ | 走行距離 | km |
| OUT | | - | ℓ | 燃費 | km/ℓ | |

<コメント>

皆様こんにちは！開幕です！シーズンインです！
 今年もご支援いただきました皆様のご協力のもと開幕戦を迎えられたことに感謝いたします。
 先日筑波サーキットでは、一足先にJSB以外のクラスが開幕しました。久しぶりの開催でお客様も多く、レース内容も見
 がありました。JSB開幕が待ち遠しかったです！
 さて今回は2&4レースの為JSBクラスのための開催です。しかも耐久！耐久といえどご存知の方も多いと思いますが、
 今年は早いものでもう鈴鹿8耐のライダーが決定しました。エースライダーの今野由寛選手！昨年に引き続き青木宣篤
 更にJoshuaWaters選手！過去にはヨシムラからSBKに参戦。8耐参戦経験も豊富です。
 開幕戦は今野選手とジョシュ選手の二人組。8耐を見据えての参戦です。
 前週のジョシュ選手来日予定に合わせて『日本海間瀬サーキット』にてサブライ号を初ライド。
 3人のライダーで交代で走行。ジョシュも精力的に走りこんでました。間瀬サーキットで操作系のポジションなどを確認で
 レースウィークに余計な時間を使わなかったのが良かったです。マシンフィーリングもつかめたようでした。
 さてレースウィーク初日。一台しか走行できないので少ない時間の中いろいろ確認していきます。朝の走行はタイヤと
 確認。そして燃費などデータを取ります。午後の走行時間のほうが長かったのですが雨が降ってきてレインタイヤをテス
 翌日も雨が残りWETスタート。別のレインタイヤをテストしてラインが乾いたのでドライタイヤを投入。ハーフWETからの
 も完了。コンディションの微妙な時にジョシュの速さが光ります！これは楽しみになってきました。
 午後の走行でタイヤとセットを詰めていきます。二人で一台なので走行時間が少ない！しかしライダーもトライを繰り返
 セッティングにつながるデータを集めていきます。翌日は予選日です。35分間なので一人当たり17分！約7周です。
 アタックして今野選手が2'09.695で13番グリッドを獲得。朝フリーも6周づつ走行して決勝へ。
 スタートは今野選手。一周目に9番手まで順位を上げ、10秒台で走行。しかし前のグループのラップタイムは8秒から9
 なので徐々に離れてしまいます。PIT作業で少し遅れてしまいましたが、ジョシュ選手も集団をかわしながらペースを上
 ます。これからというときに赤旗がでてしまいました。成立の周回数を超えていたために29周終了のこの時点でレース
 結果は予選より順位を上げて10位でした。
 まだまだ課題も多いですが熟成されたマシンです。一つ一つクリアしていき安定して早いラップで走行できるマシンを
 行きます。
 今回も非常に多くの声援を頂きましてありがとうございました。
 またご協力いただきました各企業様もお礼申し上げます。
 残念ながらAPラウンドは中止となりましたが、次戦茂木ではさらにスケールアップした走りが見せられるようにしますの
 ご期待ください！
 Sサブライでもレースの情報をリアルタイムに発信していきます。もしよければご覧下さい。
 S SUPPLY Facebook <http://www.facebook.com/pages/S-Supply/452966391546855>
 S SUPPLY twitter @SSUPPLY_

(株)Sサブライ
 畑中 健太郎